



下鳥羽PTAだより

令和元年10月作成
京都市立下鳥羽小学校
PTA会長 濱渕 栄美
校長 井上 奈美



下鳥羽PTAって？

PTAは、Parents（保護者）Teacher（先生）Association（組織）の略称で、親と先生だけでなく、家庭や学校、地域と協力し合い子供たちが安全で楽しく生活ができるように会員が協力をしていくこうという任意団体です。

下鳥羽PTA活動では、PTA本部役員・学級委員・地域委員・教職員の先生方が主になって、地域の方と連携をとりながら会員全員で子供たちの過ごしやすい環境づくりのお手伝いをしています。子供たちが、学校生活で授業を受けるだけでなく学級代表や係り活動などお友達と協力して生活をしているのと同じように会員全体で、子供たちを取り巻く環境がより良いものにしてくためのボランティア活動の団体です。

PTA会費はどんなことに活用している

の？主には活動費です。消耗品購入や劣化したものの買い替え、記念品、広報誌などにあてています。しかし一部では、学校の予算では購入の難しい設備や備品購入も会費から使用することもあります。また、災害が起こった時に少しでも早く子供たちが学校生活を送れるように準備するため、繰越金を貯蓄しています。

PTA本部役員って何をするの？

学級委員さん、地域委員さんがスムーズに活動していくよう、日程の調整や活動内容の取りまとめなどを行っています。各委員の選出や、活動における日取りの調整、活動にかかる物品の手配など、活動のお手伝いをまたて子供たちが学校の外でも見守ってもらい安全な暮らしができるよう、下鳥羽地区の地域の方々に見守りや清掃、防災の協力をお願いしています。



学級委員って何をするの？

学級委員さんは学校の校門が開放される参観日に立ち当番を行ってくれています。

普段の学校生活では、校門が施錠されていて、来客者にたいして誰が来客されているのか先生方が防犯カメラで見守ってもらっています。しかし、参観日のような、先生方も校内での活動で来校者の把握が難しい日に来校者の方のお名前を聞くことで、安全対策を行っています。

運動会も同様で自転車整頓の声掛けを行っています。転倒がないように配列したり、事故や盗難を見守ったりすることで安全対策をおこなっています。

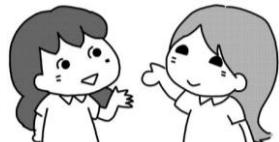
地域委員って何をするの？

地域委員さんは、朝に登校班の場所や校門で子供たちに向けて挨拶運動を行っています。

登校班がそろって登校できているか、出発時間に登校できているか、困っていることはないのか。大人にとっては些細なことも、年齢差のある子供たち同士で登校する際に少しでも気持ちよく登校できるように定期的に挨拶運動を行っています。また、立ち当番での問題点や、保護者からアドバイスできることを町別集会で意見してもらい、子供たちが安全に登校していくける環境づくりを行っています。

PTAのあり方は時代と共に変化してきました。今後もさらなる変化を続けていく中でその時代に沿った活動をしていかなければなりません。皆で知恵や意見を出し合い改善していくことが大きな課題です。

PTAという団体の存在する意義は、人とのつながりであり子供たちの安全を見守っていることに変わりはなく、どの時代であっても子供の為に活動する団体です。



部活動って何？

他校とのつながりを持つことや、地域とのつながりを持つために下鳥羽PTAでは安全部・保健体育部・広報部・文化部・はぐくみ部の部活動があります。

学校や子供の活動外のように見えますが、保護者同士が知り合うことやつながることで、子供達との向き合い方やつながり方を私たち保護者も共に学び成長していくこうという活動です。